

【令和5年度】第2次豊明市環境基本計画 ②実績調査票

環境テーマ	施策			所管課	R5年度実施した事柄
自然の保全	自然景観の保全	樹林地等の適正な配置	森林環境譲与税の活用	農業政策課	出生された豊明市内在住のお子様を対象に、本市の友好自治体である長野県上松町の木材にて作られた食器・おもちゃを贈呈した。（＊受付、贈呈しているのは、事業課である子育て支援課）
				子育て支援課	長野県上松町の3つの業者より木製品でできたおもちゃを購入（合計：540個）。豊明市で誕生したお子様に窓口でお渡ししている。令和6年度も継続。
			二村山緑地の適切な維持管理	都市計画課	二村山緑地の除草作業や高木の剪定等を行い、維持管理に努めた。
			都市計画マスタープランの運用による都市緑化推進事業の推進	都市計画課	二村山緑地を含む緑地及び都市公園の樹木の剪定、除草作業を行い自然景観の保全に努めた。
		農地の保全・農業の支援	遊休農地のバトロール	農業政策課	農地最適化推進委員と共に農地バトロールを実施し、遊休農地の解消に努めた。
			新規就農者の確保・参入促進	農業政策課	農地バンク事業などにより新規就農者への斡旋を推進した。なお、令和5年度は4名の新規就農者があった。
			担い手となる農業者の確保、育成	農業政策課	農地バンク事業などにより農地の出し手と受け手の意向を踏まえたマッチングを行い、農業者の確保等に努めた。しかし、高齢化に伴う離農者の増加により認定農業者数は減少している。
	生態系の保全	動植物の生息・生育状況の把握	市内の動植物の生息・生育状況の把握（地域活動団体、生涯学習課との連携、情報共有）	生涯学習課	豊明のナガバノイシモチソウの給水、巡視、清掃等を文化財保護委員の指導により行った。また、愛知教育大学に遺伝子解析を行った。 豊明二村山自然観察会と委託契約をし、大狭間湿地内に育成する希少な動植物の保全育成を行った。 また、広報に「とよあけの自然」の連載記事を掲載し、啓発活動を行った。
				環境課	オオキンケイギクなどを増やさないためHP等で啓発した。また、境川河川敷に自生した外来種について自然保護活動団体が駆除をしたものの処理に協力した。
			市史や広報を通じた情報の公表	生涯学習課	広報に「とよあけの自然」の連載記事を掲載し、啓発活動を行った。
		重要種の生息・生育地の保全	県指定天然記念物である豊明のナガバノイシモチソウの生育地や大狭間湿地の維持・管理	生涯学習課	豊明のナガバノイシモチソウの給水、巡視、清掃等を文化財保護委員の指導により行った。また、愛知教育大学に遺伝子解析を行った。 豊明二村山自然観察会と委託契約をし、大狭間湿地内に育成する希少な動植物の保全育成を行った。
			重要種の生息・生育地の郷土学習への活用	生涯学習課	豊明のナガバノイシモチソウ及び大狭間湿地の一般公開を行った。
		外来生物の対策	オオキンケイギクなどの外来種の駆除	環境課	境川河川敷に自生したオオキンケイギクなどの外来種について自然保護活動団体が駆除をしたものの処理に協力した。
			外来生物を増やさないための啓発	環境課	オオキンケイギクなどを増やさないための啓発を広報紙とHPで実施した。
自然との触れ合いの確保	自然との触れ合いの確保	自然との触れ合いの機会の提供	学校花壇・学校農園による土との触れ合い	学校教育課	学校花壇・学校農園による土とのふれあいを行った。
			愛知県内の自然体験施設におけるキャンプ活動	学校教育課	小中学校は愛知県美浜自然の家又は愛知県旭高原自然の家にてキャンプ活動を行った。
			二村山の自然観察会、グリーンフェスタの実施	都市計画課	二村山豊かな里山づくりの会主催の自然観察会に協力し、10月には勅使水辺公園でグリーンフェスタを開催し、自然との触れ合いの機会を提供した。
		自然との触れ合いの場の整備	既存のため池や市民菜園等の維持管理	土木課	ため池維持修繕については、自然環境再生・安全に配慮した。

環境テーマ	施策			所管課	R5年度実施した事柄
				農業政策課	市営の市民農園(5ヶ所)を利用しやすいよう維持管理して、市民が農業に触れる機会を継続して提供した。
				環境課	ため池(勸使池など9か所)において年2回(6月・1月)に水質調査を行った。 主な調査項目は、水素イオン濃度、溶存酸素、化学的酸素要求量、浮遊物質量である。今後も水質汚濁防止のため水質調査を継続していく。
			事業者のビオトープ整備促進	産業支援課	工場立地法に基づき、適正な緑地及び環境施設を確保するように促した。
	保全活動の推進	保全活動の推進	自然環境の保全活動を行うNPO法人や地域活動団体との連携	環境課	境川河川敷に自生した外来種について自然保護活動団体が駆除をしたものの処理に協力した。
水辺の保全・活用	ため池の保全・活用	現状の把握	ため池や河川の水質調査	環境課	ため池(勸使池など9か所)、河川(境川など8か所)において年2回(6月・1月)に水質調査を行った。 主な調査項目は、水素イオン濃度、溶存酸素、化学的酸素要求量、浮遊物質量である。今後も水質汚濁防止のため水質調査を継続していく。
			境川の水生生物調査	環境課	境川流域4市1町公害担当国会議にて実施していたが、令和4年度以降は中止となった。
		水辺の活用	ため池公園の維持管理	都市計画課	ため池のある公園の除草作業やごみ清掃作業を行い、維持管理に努めた。
				産業支援課	平成30年度に三崎公園のライトアップは廃止された。
	水循環の保全	環境に配慮した道路	主に歩道に透水性舗装の採用による雨水の流出抑制	土木課	透水性舗装を35㎡実施し雨水流出抑制を行った。
		節水、雨水利用	公共施設での節水、雨水利用設備の導入	学校教育課	小中学校の水道口に節水コマをつけ、節水に心がけた。 貯留タンクを設置して、雨水を散水利用した。 自動水栓やセンサースイッチ等を設置し、節水、節電に心がけた。
潤いと安らぎのあるまちづくり	公共交通利用の促進	利便性の高い公共交通ネットワークづくり	高齢者の外出支援(免許返納者へひまわりバスの定期券の支給)	長寿課	高齢者運転免許証自主返納支援事業を実施。豊明市在住で満65歳以上、かつ、有効期限内の運転免許証を自主返納した人を対象とし、①ひまわりバス定期券引換券(1人12枚)、②乗り合い送迎サービス「チョイソコとよあけ」利用券(1人30枚)のいずれかを交付。
				企画政策課	①免許返納者に対して、ひまわりバス定期券引換券(12か月分)又はチョイソコとよあけ回数券(30回分)を贈呈 ②高齢者向け(65歳以上)にひまわりバス定期券を販売(月500円、年5,000円)
			周辺自治体との公共交通の相互連携の検討	企画政策課	①広域公共交通網の検討や情報交換等のため、愛知県も含めた尾三地区広域公共交通推進会議を2回実施した。 ②豊明市公共交通会議の委員に、名古屋市、大府市、刈谷市、東郷町の隣接市町に委員として参画いただき相互連携を図った。 名古屋市営バス、大府市のふれあいバス、東郷町の東郷・藤田医大バスが本市に乗り入れている。
	緑化の推進	緑化の推進	あいちの森と緑づくり事業の推進(生け垣補助等)	都市計画課	緑の街並み推進事業補助金で個人宅2邸が空地緑化を行い、県民参加緑づくり事業補助金でグリーンフェスタを行い、あいちの森と緑づくり事業の推進を行った。
			花いっぱい運動の促進	都市計画課	西川区、三崎区、大久伝区、大膳区、坂部区、落合区、二村台2区、二村台4区、中島区、館区の10区の方々に、花いっぱい運動に参加いただき、緑化の推進に努めた。
		緑地の保全	二村山緑地の区域の保全	都市計画課	二村山緑地の除草作業や高木の剪定等を行い、維持管理に努めるとともに二村山豊かな里山づくりの会主催の自然観察会に協力した。
			市民緑地(仙人塚市民緑地、西大根市民緑地)の指定の継続	都市計画課	市民緑地内の樹木剪定・除草作業を行い、緑地の保全に努め、西大根市民緑地は令和5年度から5年間の継続契約を結んだ。 (仙人塚市民緑地は令和4年度から5年間の継続契約を締結済み。)

環境テーマ	施策			所管課	R5年度実施した事柄
			生産緑地の継続	都市計画課	生産緑地適正管理の確認パトロールを実施した。また、生産緑地買取申出に対し、各機関に照会及び斡旋を行った。
		公園の整備	既存の公園の剪定・草刈り等の適切な維持管理	都市計画課	都市公園の除草作業や、樹木剪定、遊具の点検・修繕等を行い、公園の整備に努めた。
	みんなでつくるきれいなまち	地域美化活動の推進	アダプトプログラム制度の充実と地域美化活動への支援	土木課	アダプトプログラム登録者の道路等の清掃活動についてゴミ袋等の提供や回収で継続的に支援するとともに、地元、シルバー及び業者委託によりごみの撤去を行った。
				都市計画課	アダプトプログラム登録者の方々に、ボランティア袋を提供し、地域美化活動を支援した。
				環境課	アダプト登録している団体の活動に対し、草刈機の貸付料(1台760円)を免除した(R5年度81台)。また、所管課よりボランティア袋の提供依頼があった際に、袋の提供を行った。
				共生社会課	ごみ袋の支給及び美化活動者が活動中にケガ等をした場合に備えた保険に加入した。
			花いっぱい運動の促進【再掲】	都市計画課	西川区、三崎区、大久伝区、大脇区、坂部区、落合区、二村台2区、二村台4区、中島区、館区の10区の方々に、花いっぱい運動に参加いただき、緑化の推進に努めた。
			不法投棄防止看板の設置	環境課	不法投棄禁止看板を市民の方に配布した。
		人々のマナーの向上を図る	パトロール、不法投棄防止看板の設置	環境課	年間(年末年始を除く)を通じて市内全域のパトロール活動を行った(R5年度349日)。大気汚染24件、水質汚染1件、騒音41件、悪臭5件、その他212件について対応した。R6年度も継続。
			広報等による啓発活動の実施	環境課	犬のフンを持ち帰るように啓発する看板を市民の方に配布した。
			雑草苦情に関して土地所有者への連絡	環境課	R5年度の雑草等の苦情件数は83件(他課依頼分を含む)。そのうち環境課より土地所有者に連絡したのは45件。
			公園のごみ持ち帰りの徹底	都市計画課	都市公園に看板等で掲示し、人々のマナーの向上を図った。
			地域の清掃活動の実施	環境課	毎年5月を「とよあけクリーン月間」とし、地域の清掃活動におけるごみの回収を行った。
	快適で安全な都市基盤整備	工場と住居の混在の解消	工業団地の整備	産業支援課	柿ノ木工業団地は愛知県の大規模行為届出制度に基づき、開発面積の25%の緑地を設定する予定。
			立地適正化計画に基づくコンパクトなまちづくりの推進	都市計画課	工場と住居の混在解消のため、居住誘導区域を設け、継続して立地適正化計画を管理している。
				産業支援課	会議の開催なし。
公害のないまちづくり	大気汚染・騒音の防止	測定・監視、発生源の監視	環境監視員による巡回監視、市民による通報への対応	環境課	年間(年末年始を除く)を通じて市内全域のパトロール活動を行った(R5年度349日)。大気汚染24件、水質汚染1件、騒音41件、悪臭5件、その他212件について対応した。R6年度も継続。
			大気環境測定局の維持管理	環境課	伊勢湾岸自動車道の大気環境測定局が日本道路公団より市に移管されたため、大脇局にて一酸化炭素(CO)、窒素化合物(NO、NO2、NOx)、浮遊粒子状物質(SPM)の測定を行った。

環境テーマ	施策		所管課	R5年度実施した事柄
		低公害車の導入	公用車の低公害化促進	総務課 公用車の買替えの際にハイブリッド車を購入した。
			企画政策課	EVバス導入の可能性を調査するため、名鉄バス(株)所有のEVバスにて、ひまわりバス現行路線の試走を実施した。
		自動車騒音の低減	騒音防止法に基づく幹線道路における騒音測定の実施	環境課 国道23号、県道瀬戸大府東海、国道1号の3か所で騒音測定を実施。R5年度は12月に測定し、要請限度を超えた地点は1か所あった(国道23号線 夜間測定結果71 要請限度は70)。2か所は要請限度は越えなかった。
	水質汚濁の防止	下水道・合併処理浄化槽等の整備の推進	合併処理浄化槽への転換促進	環境課 既設の単独処理浄化槽、し尿くみ取り便所から合併処理浄化槽へ切り替える場合、補助金の交付を行っている。
			下水道課	市街化区域での下水道整備は概ね完了し、施設の統合等による汚水処理の適正化を図り、公共下水道の整備推進を行っている。
		生活排水対策の推進	啓発パンフレットの配布	下水道課 ホームページ等で公共下水道区域の住民への啓発を行っている。
		水質の測定・監視	河川・排水路・ため池の計24箇所測定	環境課 ため池(勸使池など9か所)、河川(境川など8か所)において年2回(6月・1月)に水質調査を行った。主な調査項目は、水素イオン濃度、溶存酸素、化学的酸素要求量、浮遊物質量である。今後も水質汚濁防止のため水質調査を継続していく。
	事業所公害の防止	公害防止協定の締結の推進	工業団地に誘致する企業に公害防止協定の締結を推進	環境課 公害防止について万全を期するため、協定を順次締結している。R5年度現在で16企業と締結している(R5年度新規締結はなし)。
			産業支援課	立地企業と公害防止協定を締結する予定。
		事業所の環境保全活動の推進	環境課	公害防止について万全を期するため、協定を順次締結している。R5年度現在で16企業と締結している(R5年度新規締結はなし)。
			産業支援課	柿ノ木工業団地の分譲申込企業に対して、評価基準を用いて選定した。
		商工会等事業者団体を通じた事業者との連携の推進	環境課	公害防止について万全を期するため、協定を順次締結している。R5年度現在で16企業と締結している(R5年度新規締結はなし)。
			産業支援課	商工会で資源ごみ回収を行った。(第2・4水曜日)
		その他公害への対応	環境監視員による巡回監視、市民による通報への対応【再掲】	環境課 年間(年末年始を除く)を通じて市内全域のバトロール活動を行った(R5年度349日)。大気汚染24件、水質汚染1件、騒音41件、悪臭5件、その他212件について対応した。R6年度も継続。
	複合的な公害対策	都市・生活型公害の防止	広報等による啓発の実施	環境課 野焼き禁止の記事を広報9月号に掲載した。
		新たな環境リスクへの対応	広域連携による公害・環境対策の実施	環境課 地域における環境保全活動の推進を図るため愛知県環境基本条例に基づき地域環境保全委員会を県が委嘱し、公害発生状況の調査・報告、苦情相談の受付報告、地域の環境美化活動等を行っている。豊明市では2名の地域環境保全委員が北部と南部に分かれて活動している。
ごみ減量とリサイクルの推進	ごみ減量の推進	家庭におけるごみ減量等の推進	マイバック運動の推進	環境課 HPにおいてマイバック運動の周知を行った。
			「食品ロス」削減のための啓発	環境課 HPや広報で、食品ロス削減の啓発活動を行った。豊明高校で食品ロス削減についての出前授業を行った。
			エコ・クッキングの紹介など具体的な発生抑制につながる啓発	環境課 コロナのため「エコ・クッキング教室」は中止。HPには関連情報を継続的に掲載している。HPや広報で、生ごみ堆肥化促進容器の使用方法や購入費補助金制度の啓発活動を行った。令和5年7月にダンボールコンポスト講座を実施した。

環境テーマ	施策			所管課	R5年度実施した事柄
		事業活動におけるごみ減量等の推進	事業系一般廃棄物減量化計画の提出	環境課	市内の事業所から減量化計画の提出を受けている。
				産業支援課	実施していない。
			愛知県の行う産業廃棄物の調査指導への協力	環境課	愛知県より産業廃棄物の調査指導の協力依頼はなかった。
				産業支援課	令和5年度の実施はないが、県からの依頼があった場合は商工会が周知や情報提供を予定。
	3Rの推進	リデュース・リユース・リサイクルの促進	リユース店の登録制度及び周知	環境課	HPやごみの分別パンフレットに掲載し、リユース店の周知を行った。
			生ごみ堆肥化促進容器(コンポスト、バケツ)の購入者に補助金の交付	環境課	令和5年10月より電動生ごみ処理機が補助対象に加わった。
			家庭用堆肥発酵促進剤「ボカシ」の無料配布	環境課	市役所、農協において「ボカシ」の無料配布を行った。
		資源回収の促進	子供会への支援	環境課	資源回収量に応じて、奨励金を交付した。
			資源回収協力店への登録促進	環境課	ごみの分別パンフレットで、資源回収協力店を掲載した。
			新たな分別品目の周知・徹底	環境課	令和4年10月から始まっているプラスチック一括回収について、改めて広報で分別方法などの周知を行った。
			資源の持ち去り禁止条例の運用	環境課	資源置場に設置する看板やHPにおいて、資源の持ち去り行為が条例で禁止されていることについて周知を行った。
			事業系資源の回収(商工会)の実施	環境課	HPや案内チラシにて、事業系資源回収の周知を行った。
	ごみの適正処理の推進	一般廃棄物の適正排出	ごみの排出困難世帯への戸別回収の検討	環境課	排出困難者や戸別収集の依頼や相談があった際に、ごみ出しの手伝いをしてくれる機関である「ちゃっと」などを案内した。
			事業系一般廃棄物と家庭系一般廃棄物の適正排出の強化	環境課	市民や委託業者からの情報提供に基づき、事業所を個別に訪問し適正排出を促した。
		ごみ分別の徹底	ごみ分別のPR	環境課	昨年度から引き続き、豊明高等学校イラストレーション部の協力の元、広報紙にマッタマンの4コマ漫画を連載している。
			ごみ分別のルールや各地域の収集日など外国語(10か国語)のパンフレット作成	環境課	ごみの分別パンフレットを転入者に配布し、ごみの分別ルールの周知に努めた。
			ごみの組成調査(可燃・不燃・プラスチック製容器包装)の実施	環境課	ごみの組成調査(可燃・不燃・プラスチック)を実施し、調査結果を実施地区において回覧した。
			事業所から発生する資源の分別収集の周知徹底	環境課	HPや案内チラシにて、事業系資源回収の周知を行なった。
再生可能エネルギーの導入・利用促進	再生可能エネルギー設備等の普及促進	再生可能エネルギー設備等の事業者・市民への情報提供・設置支援	地球温暖化対策設備の導入補助の実施 地中熱空調システム導入事業所への情報提供	環境課	V2Hの補助を行った。(R5年度補助実績 4件)

環境テーマ	施策			所管課	R5年度実施した事柄
		公共施設の太陽光発電システムの活用	メガソーラー発電所や公共施設に導入した太陽光発電施設の適切な運用	総務課	本庁舎の太陽光発電システムの活用により環境負荷低減を図った。
				環境課	若王子地にある豊明市水上メガソーラー発電所の維持管理を行った。
		多様なエネルギー源の利用を推進・活用	燃料電池車など環境負荷の少ない機器の導入を検討	総務課	公用車の買替えの際にハイブリッド車を購入した。
				環境課	V2Hの補助を行った。(R5年度補助実績 4件)
省エネルギーの推進	省エネルギー設備の普及促進	事業者・市民に省エネ設備・高効率型家電への更新に関する情報提供・設置支援の検討		環境課	HPIにて、市役所での節電方法を紹介している。
		省エネルギー活動の促進(既存設備・機器の適正運転)に関する情報提供の推進		環境課	HPIにて、市役所での節電方法を紹介している。
	省エネルギー型ライフスタイルへの転換	エネルギー使用量の見える化につながる機器の貸し出し、普及促進		環境課	省エネナビの貸し出しを行っているが、R5年度実績なし。
		クールシェア・ウォームシェアの普及促進		環境課	豊明市共生交流プラザカラット、図書館の2か所の公共施設をクールシェアスポットとして開放した。
	市の省エネルギーの推進	「とよあけエコアクションプランVer5.0(豊明市地球温暖化対策実行計画(事務 事業編))」に基づく取組の推進		環境課	豊明市の計画的な取組みを進めるため「とよあけエコアクションプランVersion5」を策定し、目標値を定めて行動指針(及び調達指針)」に基づいて実行している。とよあけエコアクションプランVersion5の計画期間は令和3年度～令和12年度の10か年で、令和12年度の温室効果ガスの総排出量を平成25年度比40%削減を目標としている。
		市施設における高効率設備機器等への更新の検討	公共施設管理課	個別案件での設備機器更新実績はあるが限定的な範ちゅう。公共施設の全面的な照明器具LED化リリースについて、公募型プロポーザル方式による事業者を選定し、早期着手施設の器具更新を開始した。	
			総務課	本庁舎及び分庁舎において、工事担当部署と連携し、照明器具を蛍光灯からLED照明に取替え、省エネルギー化を推進した。	
	低炭素まちづくりの推進	低炭素型交通網の整備の推進	ひまわりバスなど公共交通路線等の効率的な運用の検討		企画政策課
自転車利用の促進に関する情報提供の推進			防災防犯対策課	駐輪場の再整備が完了し、既存の駐輪場利用者及び市民に対し、駐輪場再整備完了に関する情報提供を実施した。	
立地適正化計画に基づくコンパクトな町まちづくりの推進			都市計画課	豊明市地域公共交通網形成計画と連携し、公共交通軸の考え方を立地適正化計画に取り込んでおり、誘導施策のひとつに新たに「老朽化した都市計画施設の改修」を加えた。	
吸収源となる森林の保全・活用		二村山をはじめとした市内の緑地の確保・保全		都市計画課	二村山緑地を含む緑地及び都市公園の樹木の剪定、除草作業を行い、緑地の保全に努めた。また、都市緑化推進事業で、緑の街並み推進事業の補助金を交付し、緑地の確保に努めた。
		森林環境譲与税を活用した水源地域の木材の活用		子育て支援課	長野県上松町の3つの業者より木製品でできたおもちゃを購入(合計:540個)。豊明市で誕生したお子様に窓口でお渡ししている。令和6年度も継続。
循環型社会の推進		ごみの減量化・資源化促進	家庭ごみ・事業系ごみの分別指導と啓発の促進		環境課
	未分別品目の資源化の検討		環境課	令和4年10月より「プラスチック一括回収」を開始した。	
	食品ロス等を減らす取組の推進		環境課	HPや広報で、食品ロス削減の啓発活動を行なった。	

環境テーマ	施策		所管課	R5年度実施した事柄
		減量化・再利用・資源化の取組の推進	環境課	ごみ減量化につながる取組の各種PR活動を実施した。
	廃棄物からのエネルギー利用促進	東部知多衛生組合の焼却炉における発電及びプール等への排熱利用	環境課	東部知多衛生組合の焼却炉において、発電及びプールへの廃熱利用を行った。
適応策の推進	適応型防災対策の推進	ハザードマップの作成・周知	防災防犯対策課	住民への洪水危険度の啓発を実施した。
			土木課	市ホームページに掲載し周知した。外国語版(英語、中国語、ベトナム語、ポルトガル語)も市ホームページに掲載し周知した。
		防災に関する情報の提供の推進	防災防犯対策課	ホームページ、広報9月号、地区の防災講話にて、防災啓発活動を実施した。
		行政、事業者、地域の連携による防災に関する取組の推進	防災防犯対策課	災害時における相互連携に関する協定を締結した。
	適応型健康対策の推進	地域の介護事業者・医療機関と連携した熱中症予防の啓発と注意喚起	健康推進課	テーマを決め3回シリーズで、7～9月号広報に掲載し、予防啓発を行いました。その他、ポスター掲示(保健センター)や、検診やとよあけ健康ウォーキングの開催時、リーフレット等熱中症啓発グッズを配布しました。医療機関と連携した啓発は実施しておりません。(地域の介護事業者との連携につきましては、所管しておりません)
多様な人々が取り組む環境づくり	情報にアクセスしやすい環境の整備	地球温暖化対策の情報提供の推進	環境課	7月号、9月号、12月号広報にて地球温暖化対策に関する市民への啓発をした。
		地球温暖化対策の発信方法の検討	環境課	広報、ホームページ等で啓発をした。
		地球温暖化対策推進法に基づく、温室効果ガス排出量の適切な公表	環境課	豊明市の計画的な取組みを進めるため「とよあけエコアクションプランVersion5」を策定し、温室効果ガスの総排出量を算出し庁内で共有している。
	体験・学習の場の創出	市による環境教育・学習体験の推進	環境課	地域における環境学習を推進するためのネットワークであるAELネットが行う環境学習スタンプラリーに参加した。
		みどりのカーテンの普及啓発	環境課	環境フェスタや環境課窓口にてグリーンカーテンを作るためのゴーヤとウリズンの種を無料配布を行った。(市内施設にも配布。)
		学校・NPO・民間事業者等による環境教育・学習講座の実施支援	環境課	尾張東部環境保全連絡協議会総会(5/12)、同事務連絡会議(6/27)、同実務研究会及び事務連絡会議(8/31)、同幹事会(12/15)、同尾張東部・尾張西部合同会議(2/15)に参加し、近隣自治体と情報共有に努めている。
	多様な主体との連携	行政、事業者、市民による共同事業を展開	環境課	小中学校において太陽光屋根貸し事業を実施している。
		市町村相互の連携	環境課	尾張東部環境保全連絡協議会総会(5/12)、同事務連絡会議(6/27)、同実務研究会及び事務連絡会議(8/31)、同幹事会(12/15)、同尾張東部・尾張西部合同会議(2/15)に参加し、近隣自治体と情報共有に努めている。
	協働の基盤づくり	環境教育の充実	学校教育課	小中学校では、総合的な学習の時間や生活科の授業などを利用して、児童生徒が農園活動や緑化推進活動を行った。
			こども保育課	ゴーヤを植えて緑のカーテンを作る。産業支援課から花をもらい園に植えている。散歩の下見で職員が公園、公園までの道のりのゴミ拾いをし、園まわりのゴミ拾いはほぼ毎日してる。
		小学校・NPO等における水生生物調査の実施	学校教育課	環境学習(井堰川の生物調査など)を実施した。
		保育園におけるごみの分別	こども保育課	可燃ゴミ、プラゴミ、資源ゴミ、不燃ゴミに分別している。園児は可燃ゴミ、プラゴミを分別している。

環境テーマ	施策			所管課	R5年度実施した事柄
		環境学習の推進	ごみ減量、地球温暖化等の学校への出前講座の実施	環境課	市内の小学校などにおいて、出前講座を実施した。
			SDGsの市民・事業者への啓発活動の実施	企画政策課	市で策定する各種計画策定等において、SDGsも踏まえた内容とするよう周知を行った。また、広報紙において、SDGsに関連の強い取組については、該当のSDGsの17の目標のアイコンを表示し、対外的な周知啓発を図った。
				環境課	広報の環境記事等にSDGsのマークを記載し啓発した。
	環境情報の提供・公開	市民参加の推進、市民の自主的活動の支援、NPO・ボランティア支援	アダプトプログラム制度の広報及びホームページへの掲載	共生社会課	HPでの掲載周知を行った。
			アダプトプログラム制度説明の実施	共生社会課	区長会において制度説明会を行った。
		市民への環境情報の提供・公開・情報発信	豊明市の環境概況(年度版)・ホームページによる観測データ等を公表	環境課	環境概況令和5年度版を作成し、ホームページに公表した。また、大気環境測定局(大脇地区)の観測データをホームページに公表した。
協働の体制づくり	市民・事業者による環境保全・整備の推進	地区環境活動の推進	アダプトプログラム制度の充実と地域美化活動への支援【再掲】	土木課	アダプトプログラム登録者の道路等の清掃活動についてゴミ袋等の提供や回収で継続的に支援するとともに、地元、シルバー及び業者委託によりごみの撤去を行った。
				都市計画課	アダプトプログラム登録者の方々に、ボランティア袋を提供し、地域美化活動を支援した。
				環境課	アダプト登録している団体の活動に対し、草刈機の貸付料(1台760円)を免除した(R5年度81台)。また、所管課よりボランティア袋の提供依頼があった際に、袋の提供を行った。
				共生社会課	ごみ袋の支給及び美化活動者が活動中にケガ等をした場合に備えた保険に加入した。
		事業者の環境保全活動の推進	事業者の商工会を通じた環境保全活動の推進	産業支援課	商工会で資源ごみ回収を行った。(第2・4水曜日)
	市民・事業者参加の体制整備	市民活動の支援	市民活動の拠点施設の活用	共生社会課	利用者の声に対して柔軟に対応する管理体制を構築し、より一層のにぎわい創出に取り組んだ。
			市民活動情報誌「コラボ」の発行	共生社会課	令和3年度より情報サイト等に集約、コラボ発行実施なし。
			備品の貸し出し	共生社会課	令和5年度の市民への貸出しは82件であった。令和4年度から26件増加している。コロナ禍が落ち着き市民活動が再開されていると予想される。
		市民参加によるまちづくり	街区公園の再整備やため池改修における、地域住民の意見の集約・反映	土木課	区長要望工事等を実施し、地域住民の意見を反映した。
				都市計画課	区長要望や地域住民からの要望を集約し、順次解決するように努めた。また、R5年度は長田公園のリノベーション工事を行うとともに次年度リノベーション工事を予定している丸ノ内公園周辺の地域住民と意見交換を行った。
			住民市民の意見の政策反映のためのパブリックコメント等を実施	土木課	新規の事業について、必要に応じて説明会を実施した。
				都市計画課	花と緑のフェスタやグリーンフェスタ等でアンケート調査を実施した。
				共生社会課	令和2年度～5年度に実施した日本語ボランティア養成講座に参加した受講生58人(重複者等除く)に対しアンケートを実施。日本語ボランティア養成講座に参加し、日本語ボランティアに興味があるにも関わらず、ボランティアを始めることができない理由を把握し、日本語ボランティア養成講座の有効性及び継続を検討した。

環境テーマ	施策		所管課	R5年度実施した事柄
	他の自治体等との連携	近隣自治体や県との連携・情報交流	市民提案型まちづくり事業の運用	共生社会課 一般コース2件、ビギナーコース11件を採択。
			境川流域総合治水対策協議会による河川整備等の推進	土木課 境川総合流域治水対策として、必要な対策を推進した。
				企画政策課 尾三地区自治体間連携推進委員会、尾張東部地区企画担当事務連絡協議会など広域での検討部会を設置しており、当該テーマについての議題があれば広域実施に係る検討を行えるよう体制を整えている。
			他自治体との連携による環境施策の検討	企画政策課 尾三地区自治体間連携推進委員会、尾張東部地区企画担当事務連絡協議会など広域での検討部会を設置しており、当該テーマについての議題があれば広域実施に係る検討を行えるよう体制を整えている。
				環境課 尾張東部環境保全連絡協議会総会(5/12)、同事務連絡会議(6/27)、同実務研究会及び事務連絡会議(8/31)、同幹事会(12/15)、同尾張東部・尾張西部合同会議(2/15)に参加し、近隣自治体と情報共有に努めている。
			あいち生態系ネットワーク協議会による保全活動の推進	環境課 東部丘陵生態系ネットワーク協議会に属し、構成団体は実施計画に基づきそれぞれの立場に応じた取り組みを推進している。